



バッハの森通信

第109号
2010年
10月20日発行

財団法人筑波バッハの森文化財団

〒300-2635 茨城県つくば市東光台2-7-9 <http://www.bach.or.jp>

☎ 029-847-8696 / Fax 029-847-8699 e-mail: info@bach.or.jp

郵便振替 00380-4-16119 (財)筑波バッハの森文化財団

バッハの森を 一緒に創る喜び

もし私が私のために存在していないなら、
誰が私のために存在するのか？
しかし私が私自身のために存在しているなら、
私とは何者なのか？
今でなければ、いつなのか？

これは、ナザレのイエスより1世代前に、エルサレムで最も尊敬を集めていた律法学者、老ヒレルの言葉です。

約50年前にエルサレムに留学して、目から鱗の毎日を送っていたころ、最初、ヘブライ語のクラスで習った言葉です。そもそもヘブライ語は簡潔な言葉ですが、この老ヒレルの言葉の原文を最初読んだときは、まるで判じ物でした。上の文章から、「存在している」という補足した言葉を全部省いて読んでみてくださいと、ある程度原文の雰囲気は分かっていたかもしれません。

* * *

と言っても、ヘブライ語の説明を始めるわけではありません。最初、判じ物だと思った言葉の、本当に意味することがだんだん分かってきたとき、これはすごい、と感動したものです。それ以来、この言葉は、私の「座右の銘」になりました。

最初の文章は、「人間とは、誰でも自分独りで生まれ、自分独りで死んでいく存在。従って、自分の命は自分で生きるのが定め。自分の命を代わって生きてくれる者は誰もいない」と言う意味でしょう。考えてみると当たり前のことを言っているのですが、結構、厳しいな、と感じませんか。

意味深長なのは、その次の文章です。自分の命を自分で生きるのが定めなら、自分のために生きて何が悪い、と言いたいところです。老ヒレルも悪いとは言っていません。ただ、自分のために生きてみると、人は、自分は何のために生きているのだろうか、自分で自分に尋ね始めるものなのではないか、と問いかけているのです。

その答えを老ヒレルは出していません。ただ、答えが出たらすぐ実行しろと勧めます。「今でなければ、いつなのか？」という問いかけは、自分の命が限りあることを自覚して行動せよ、ということでしょう。

* * *

夏休み中に、機会があって、老ヒレルの言葉をもう一度考えてみました。最初の文章については、全くその通りだが、歳をとったなど感じる昨今、さらに生きる勇気を要求されているようで、いささかかしんどいな、というのが正直な感想でした。

幸い、次に続く文章が慰めでした。もう自分のために生きていないという思いが、今の私を生かしているからです。具体的には、毎日、バッハの森を創る喜びが与えられていることは、何と幸いなことかという感慨です。そうなると、自分の命には自分で責任を持って、という厳しい言葉がたいして気にならなくなるから不思議です。

言うまでもなく、「バッハの森を創る」とは、ここに集まって来る人たちと一緒に、音楽をしたり、研究会を開いたり、運営事務をしていても、そこに「バッハの森」という人の集まりが日々新たに創り出されることを意味します。これは本当に大きな喜びです。幸い、バッハの森には、バッハの森と一緒に創る喜びを分かち合える友人が集まっています。あなたも、自分のためにだけ生きていないで、一緒にバッハの森を創る喜びに参加なさいませんか。本当に楽しいですよ。あなたが参加なさるのは、「今でなければ、いつですか？」

(石田友雄)

バッハの森で 顕 & 智子の結婚を 祝う集い

2010年7月25日(日)午後4時

今年の夏休み中に、滅多にない楽しい集いが開かれました。結婚式でも、結婚披露宴でもない、結婚を祝う集いです。司会者も2人。以下は司会をした石田友雄(T)と伊藤香苗(K)の報告です。

T:全体の印象、とても楽しかったんじゃない?

K:ええ、みんなもそう言っていたし、もちろん、私も楽しかったんですけど、実はあの時、すごく緊張していて、初めの方はあんまり覚えていないんです。

T:そうは見えなかったな。

K:失敗したんじゃないかと、反省ばかり。

T:大丈夫。全然、失敗なんかしなかったよ。

順を追って振り返って見ると…ボクらの挨拶は短くて良かったけど、彼ら2人にはもう少し具体的な「いきさつ」なんかも話して欲しかったな。あんなに格式張らないで、と言っていたのに、いざとなると、それこそ緊張しちゃったね。

K:無理ないわ。

T:先ず「いつくしみ深き」の合唱が、緊張をほぐした。

K:普段、バッハの森で歌わない歌だけど、初めてバッハの森に来てくださった皆さんに、いきなりコラールじゃ難しいかなと思って、みんなが知っている賛美歌にして、よかったんじゃないですか?

T:指輪交換、唯一の儀式(?)だったけど、それこそ香苗ちゃんとボクで介添えしたから格好がついた。ボク一人じゃさまにならないもの。

K:サプライズのケーキカットも素敵でしたね。実はケーキが用意されていること、お2人には知らせてなかったんです。

T:アルコール抜きのシャンパンで乾杯して、お茶と歓談に移ったけど、多分、花嫁、花婿もボクたち司会者も、もっと歩き回って特に初めて来た方々とお話しができたならよかったかもしれないね。でも結構混んでいて、難しかったけど。



無事ケーキカットを終えた顕と智子

K:ここで恵さんが指揮して全員に「ハレルヤ・アーメン」の輪唱を歌わせてくださった。それで私は一気に緊張が解けました。

T:ボクがバッハの森の紹介をした後で、香苗ちゃん手作りの布をかぶせたかごを回してご寄付を集めたけど、あのいきさつ知っている? お2人とボクが最初に集いの打ち合わせをしたとき、バッハの森に対する感謝の気持ちを、集まった人たちみんなが表せるようにしたい、と顕さんが言い出したのであしたのわけ。とてもよかったね。

K:それでコンサートになって、コラール「起きよと呼ばわる」のハンドベルと斉唱、それにバッハのカンタータ(BWV 140)からオルガン・オブリガート付きで2曲歌いました。

T:カンタータの第5曲と第6曲のイエス(バス)と魂(ソプラノ)の掛け合い、せっかく香苗ちゃんが2人で朗読して、とお2人に頼んだのに、恥ずかしい、と断われちゃったのは残念。結局、ボクと香苗ちゃんが代読して、「さあ、私のところにおいて、私の花嫁よ。…私はお前と永遠の昔からちぎりを結んだ。…私の左の腕にお前は憩い、私の右の腕はお前に「口づけする」とイエスが語ると「私の愛する方は私のもの」と魂が答え、その後も延々と2人で愛を語り合うわけ。

K:最後のコラール「主よ、わが喜び」はハンドベルに続いて全員で斉唱。ハンドベルには花嫁の「おぼちゃん」も入ってくれました。

T:そしてフィナーレで、バッハのかの有名な編曲を全員で歌っちゃったわけ。「幸いなるかな、われ主を得たり。／悲しみのときも、病めるときにも／主はわれを愛し慰めたまえば／放しまつらじ、心裂けるも」(BWV 147/6)。何と言ったって、ヴァイオリンとチェロとコンティヌオが

入ったから、華やかになった。実はこれもサプライズ。3日前に突然申し出があったので、あわててプログラムを刷り直し、指揮者の恵さんも当日まで知らなかった次第。でも本当にいい演奏だった。ボクは、受胎告知を受け、胎児を宿したマリアが、胎動を感じながら受胎の喜びを歌っている姿を思い浮かべ、感動して聴いていた。

K: ヴァイオリンは最後のサプライズだけど、今度の集いは、何が面白かったかというと、7月4日に創立記念コンサートをしてから、わずか3週間の間に、これだけの集いをみんなでもとめ上げたことです。音楽はもちろん、ケーキのこと、お花のこと、会場のこと、その他何でも、みんな、それぞれが思いつくことを自由に持ち寄ったらこうなったという感じです。だから、サプライズに次ぐサプライズで、3週間の準備期間が結構盛り上がり楽しかった。

T: ボクもそれを感じました。みんなが自然に動いた。それで最後に演奏した音楽も、コンサートするときみたいに堅くならないで、ごく自然だったね。要するに、みんな、うまくできたか、できなかったか、ということを感じてなかった。そういうことが気にならない雰囲気だった。だから楽しかった。顕と智子、それにみんな、有り難う。

* * *

バッハの森で 人と人のつながりが生み出す力を 実感しました

今年の夏はスーパー猛暑と呼ばれ、記録的な暑さの続く夏となりましたが、松岡顕と私にとっては、別の意味で、思い出深い夏となりました。私たちは、この夏、互いの家族や友人と一緒に、バッハの森で結婚祝いの会を開いていただいたのです。

元々、ホテルや結婚式場などの会場で大規模な結婚式を行わず、家族やごく親しい人たちと近い距離感でいられるような形の集いにしたいと考えていました。どうしたらそのような集いができるか二人でいろいろ考えているうちに、バッハの森で何かしていただけないか、ということになりました。

でも、結婚を予定していた日がバッハの森の夏期休館中だったこともあり、最初は精々、家族や友人

たちに、私が4年前から、どんな所でどんな人たちと、歌ったり、ハンドベルを鳴らしたり、研究会に参加したりしていたか、知ってもらうために、バッハの森の見学をさせていただくという形を考えていました。

しかし、実際にバッハの森の仲間や友雄先生に相談してみると、私たちの心配は全く杞憂でした。瞬く間に「顕 & 智子の結婚を祝う集い」が計画され、多少セレモニー的要素も加えながら、友雄先生のバッハの森紹介のお話や、合唱、オルガン、ハンドベル、ヴァイオリン、チェロの演奏、それに参会者全員の斉唱など、バッハの森ならではの音楽盛況山のプログラムを作ってくださいました。

私自身は集いの準備にはほとんど参加できませんでしたが、会場やお茶の準備、来客への対応、お花やケーキまで、バッハの森の皆さんが全く自然体できちんと整えてくださったので、さすが、とすっかり感心してしまいました。友雄先生と香苗さんのダブル司会で、集いをスムーズに、かつ和やかに進行していただき、恵さんの指揮で全員が輪唱や斉唱に参加できたため、会場全体がとても喜ばしい雰囲気になっていました。バッハの森の皆さん、本当にありがとうございました。

当初、想像していた限界をはるかに超えて、私たちの結婚をお祝いしてくださる集いがどんどん育っていくのを目の当たりにして、バッハの森に出来上がっている人と人のつながりから生まれた力の大きさを実感することができました。バッハの森は（現在、中・高・大学生はいないのですが）、幅広い世代の皆さんが、時間と場所と興味を共有して、普段開いているコンサートなどの他に、今回のような臨時の集いをたちまち作り上げることができる、非常に貴重なグループだと思いました。ここにあるような温かい人と人の自然なつながりを、今後も大切にしていきたいと願っております。（松岡智子）



フィナーレ：「幸いなるかな、われ主を得たり」

7. 5 夏期休館 (9月7日まで)
 7. 9 訪問 蓮見慈人氏 (関彰商事)
 7. 10 リハーサル 「顕 & 智子の結婚を祝う集い」
 のため 参加者10名。
 7. 25 「顕 & 智子の結婚を祝う集い」参加者48名。
 8. 27 運営委員会 参加者4名。
 8. 30 バッハの森セミナー (フェリス女学院大学
 オルガン科) 参加者7名。
 9. 3 運営委員会 参加者4名。
 9. 8 「秋のシーズン」開始
 9. 17 運営委員会 参加者4名。
 9. 24 運営委員会 参加者4名。
 10. 1 運営委員会 参加者4名。

J.S. バッハの音楽鑑賞シリーズ
 「コラールとカンタータ」(JSB)

9. 11 第302回 (三位一体後第4主日)、カンタータ
 「永遠の愛の憐れみの心よ」(BWV 185); オル
 ガン: J. S. バッハ「私はあなたを呼び求めま
 す、主イエス・キリストよ」(BWV 639)、笠
 間きよ子。参加者14名。
 9. 18 第303回 (三位一体後第7主日)、カンタータ
 「すべての者はあなたを待ち望んでいます」
 (BWV187); オルガン: J. S. シャイト「我ら心
 の底より歌わん」、金谷尚美。参加者15名。
 9. 25 第304回 (ミカエル祭)、カンタータ「主なる
 神よ、私たちは皆あなたを誉め称え」(BWV
 130); オルガン: J. L. クレプス「同上」、海東
 俊恵。参加者15名。
 10. 2 第305回 (三位一体後第9主日)、カンタータ
 「この世に私は何を求めよう」(BWV 94); オ
 ルガン: M. レーガー「おお神よ、あなた、誠
 実なる神よ」、J.=Ph. メルカールト。参加者15
 名。

学習コース

- バッハの森・クワイア (混声合唱) 9. 11 /12名、9.
 18/15名、9. 25/15名、10. 2/16名。
 バッハの森・ハンドベルクワイア 9. 11/6名、9.
 18/6名、9. 25/7名、10. 2/7名。
 バッハの森・声楽アンサンブル 9. 11/6名、9.

- 18/7名、9. 25/4名、10. 2/9名。
 教会音楽セミナー (1) 9. 8/5名、9. 15/7名、9.
 22/6名、9. 29/6名。
 教会音楽セミナー (2) 9. 28/3名。
 入門講座: 聖書を読む 9. 11/7名、9. 18/7名、9.
 25/6名、10. 2/7名。
 聖書ヘブライ語 9. 11/7名、9. 18/8名、9. 25/6
 名、10. 2/8名。
 教会歌を学ぶ 9. 11/7名、9. 18/7名、9. 25/6
 名、10. 2/8名。
 オルガン鍵盤和声 9. 8/4名、9. 15/5名、9. 22/
 4名、9. 29/5名。
 オルガン教室 9. 8/3名、9. 15/3名、9. 22/3名、
 9. 29/3名。
 オルガン練習 7. 6/2名、7. 8/1名、7. 9/2名、
 7. 13/2名、7. 14/1名、7. 15/2名、7. 16/
 2名、7. 20/4名、7. 21/2名、7. 22/2名、7.
 23/3名、7. 24/2名、7. 27/3名、7. 29/3
 名、7. 31/1名、8. 17/3名、8. 20/2名、8.
 24/2名、8. 25/2名、8. 26/2名、8. 28/1
 名、8. 31/1名、9. 1/2名、9. 2/1名、9. 3/
 1名、9. 4/1名、9. 14/4名、9. 15/1名、9.
 16/2名、9. 17/3名、9. 18/1名、9. 21/4
 名、9. 22/2名、9. 24/3名、9. 25/1名、9.
 28/1名、9. 29/2名、9. 30/3名、10. 1/3
 名。

寄付者芳名 (敬称略日付順) (2010.7.5-9.29)

下記の方々から計742,734円のご寄付をいただきました。
 「顕 & 智子の結婚を祝う集い」、

建物維持積立寄付 (敬称略日付順)

下記の方々から計81,000円のご寄付をいただきました。

地上雑更新積立寄付 (敬称略)

下記の方々から計250,000円のご寄付をいただきました。